

その46 車塚

(平成17年5月1日号—第236号)

京阪電車牧野駅を降り、穂谷川沿いをしばらく上流へ歩くと小高い丘に建つ市立中央図書館と輝きプラザきららが見えてきます。そこが今回紹介する本市で一番新しい町・車塚です。

このあたりは関西外大跡地における市の「安心と輝きの杜」整備計画で一変しました。跡地全体は防災公園として、建物は市立中央図書館と地域防災センター、生涯学習情報プラザ等として整備され、平成17年4月17日の施設の開館式では、多くの市民でにぎわいました。

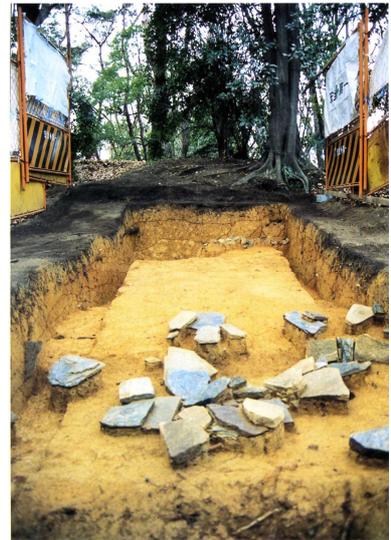


78 牧野車塚古墳鱧付円筒埴輪出土状況

さて、地名の由来となった牧野車塚古墳(小倉東町)は、全長107メートルの前方後円墳で、北河内にある古墳の中では最大級の規模を誇っています。全国にも車塚の名を持つ古墳が数多くありますが、その名の

由来は、上から見ると、皇族などが乗った牛車[ぎっしゃ]の形に似ているからと言われています。16年度の発掘調査では、古墳の盛り土を覆っていた葺石[ふきいし]や円筒埴輪[えんとうはにわ]など数多くの遺物が出土しました。葺石は、吉野川流域などから運ばれてきたことが判明していることから、淀川の舟運を通じて遠方との交流があったことがうかがえます。

皆さんも古代のロマンと魅力ある施設がそろう車塚を訪れてみませんか。



79 牧野車塚古墳墳丘テラス葺石出土状況